

令和五年度 追分宿郷土館企画展

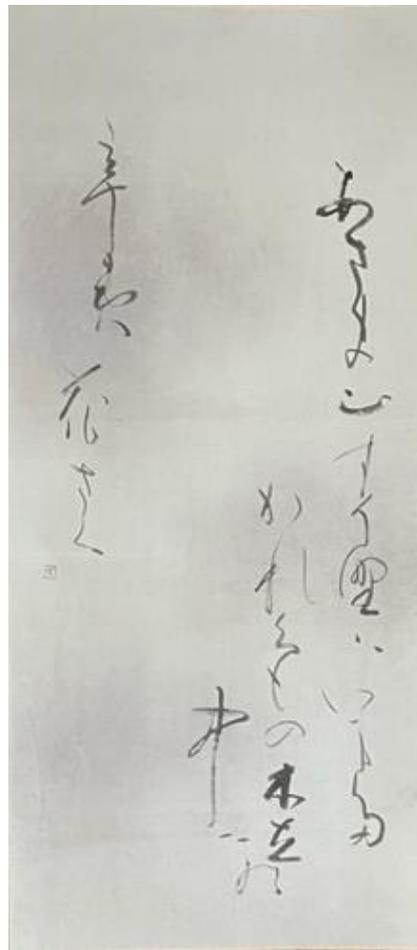
稲垣黄鶴 書の世界

開館時間 午前九時～午後五時(最終入館 四時半)
会場 離山公園 旧雨宮邸新座敷

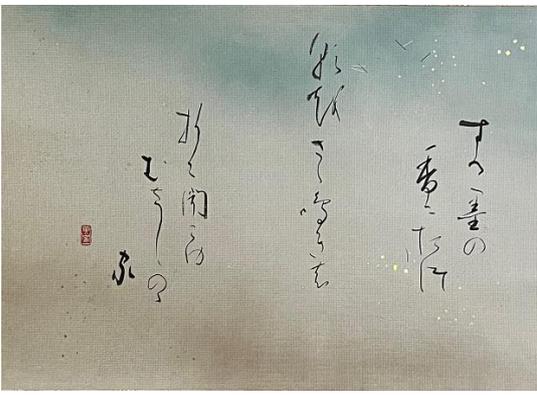
ふるさとへの想いをこめて

入場無料

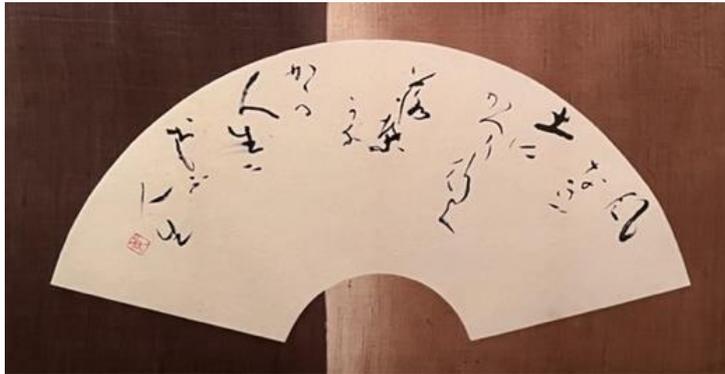
七月一日(土)～十月三十一日(火)



あさま山すそ野ははまだかれ色の
木立の中に辛夷花さく



する墨の
香にたう
朝をさよなまきの
折々聞ゆ
むさしの家



風なきに
土にかえり行く
落葉かな
かかる人生に
おもふ人生

稲垣黄鶴 (一九〇三～二〇〇六)

軽井沢町追分に生まれ、一歳の時、上田藩主の祐筆を務めた湯浅家の養女となる。幼い頃より書に親しみ、小学四年生の時には、大正天皇の御前揮毫に浴するなど、幼い頃から才をあらわした。

書家 岩田鶴皐に師事。東京女子師範学校を卒業後、中国に渡り、日本高等女学院の教師をしながら、多くの書家と交流し、研鑽を積んだ。戦後は国内外(フランス・ドイツ)で個展を開き、書家として活躍する一方、日本書道院副会長、毎日書道展委嘱作家などの要職を務め、日本書道界の発展に寄与した。

平成十八年十一月、書道一筋に生き、百三歳の生涯を閉じた。

生涯、ふるさと 軽井沢を愛した書家 稲垣黄鶴の書の世界をご覧ください。

お車でお越しの際は、軽井沢町歴史民俗資料館の駐車場をご利用ください。
(軽井沢駅方面より南原信号を右折)

住所：長野県北佐久郡軽井沢町長倉 2 1 1 2 - 1 0 1



追分宿郷土館

〒389-0115 長野県北佐久郡軽井沢町追分 1155-8 電話：0267-45-1466